



○沿革と概要

学校法人京都産業大学では、2002年から日本語教師養成を行っており、国内外のさまざまな日本語教育機関活躍する日本語教師を輩出してきました。そして、現在は、外国語学部アジア言語学科日本語・コミュニケーション専攻内に「登録日本語教員養成プログラム」を設置し、2025年4月1日からは日本語教員養成機関、及び実践研修機関として日本語教師を養成しています。

○受講資格・定員

・受講資格：

外国语学部アジア言語学科日本語コミュニケーション専攻に所属する学生(卒業生のうち、在学中に所定の単位を取得し、プログラム修了が見込める者を含む。)

・定員：1学年30名

○課程修了要件

登録日本語教員養成課程科目18科目(36単位)、及び登録日本語教員実践研修科目1科目(2単位)の計19科目38単位を取得する。

【養成課程科目】

区分	科目名	実践研修必修
社会・文化・地域基礎	日本語教育入門	○
	共生のための日本語演習	
言語と社会基礎	日本語教育のための「言語と社会」I	○
	日本語教育のための「言語と社会」II	○

言語と心理基礎	日本語教育のための「言語と心理」I	○
	日本語教育のための「言語と心理」II	○
	異文化理解概論	○
言語と教育基礎	日本語教育概論	○
	日本語教授法	○
	日本語教育演習	○
	登録日本語教員試験演習A	
	登録日本語教員試験演習B	
	日本語学入門	○
言語基礎	日本語学概論I	○
	日本語学概論II	○
	日本語文法I	○
	日本語文法II	○
	言語学概論	

※「実践研修前必修」の欄に○印を付した14科目すべての単位取得者を、登録日本語教員養成課程修了見込み者とします。

【実践研修科目】

科目名
日本語教育実習

※養成課程修了見込み者のみ履修可能です。

○課程授業の一例

【日本語教育入門】

日本語教育を取り巻く社会的背景や日本語学習者の多様性、日本語教育の歴史・現状、また、文化を異にするものの考え方やコミュニケーション方略について学びながら、日本語教師の基盤となる資質や能力を身につけます。



授業風景: グループワーク

【日本語教授法】

コースデザイン、さまざまな教授法、授業設計、評価など、日本語教育実践の基礎となるさまざま

ざま知識、考え方やスキルを具体的に学ぶことを通じて、多様な学習(教授)条件に即した日本語教育を主体的に創造する力を身につけます。

【日本語文法I・II】

現代日本語を文法的に分析するための基礎的な考え方を学ぶとともに、何気なく使っている現代日本語を文法的に分析し、様々な文や表現の違いが文法的に説明できるようになることを目指します。

○教壇実習

実践研修科目「日本語教育実習」(2単位)で、実践研修機関としての教壇実習を行います。教壇実習には、以下の2つがあり、どちらかを選択します。

【国内実習】

本学の留学生(学部正規留学生、及び交換留学生)を対象とした日本語科目で行います。



教壇実習(国内実習)

【海外実習】

本学の海外協定大学(タイ、中国)に赴き、現地の日本語科目で行います。



教壇実習(海外実習)

○学習支援体制

さまざまな日本語教育機関で行われている授業の見学(遠隔を含む)、地域日本語教室でのボランティア活動



日本語学校見学

動などの機会を設けています。また、日本語教員試験に向けた勉強会も行っています。さらに、日本語教師としてのキャリアを見据えた各種イベントも実施しています。

○課程修了と進路

【課程修了】

養成課程科目18科目(36単位)、及び実践研修科目1科目(2単位)の計19科目38単位を取得した者に、養成課程修了証書及び実践研修修了証書を与えます。

【進路】

毎年数名が、大学卒業直後から日本語学校で日本語教師として働いています。中には、本学、他大学の大学院に進学し、日本語や日本語教育に関する学びを深めようとする人もいます。そして、本専攻にある国語教職課程(中学・高校)を経て国語科教員となり、学校教育の現場で日本語教育の知見を活かしている人もいます。民間企業や公的機関に勤めている人、ライフステージに合わせて日本語教師に転職する人など、修了生は国内外のさまざまな場所で活躍しています。

○京都産業大学の養成課程について知るには

京都産業大学外国语学部アジア言語学科日本語・コミュニケーション専攻公式HP内、「登録日本語教員養成プログラム」のページをご覧ください。



<https://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/ffl/ai/aj/training/>

■問い合わせ先

京都産業大学外国语学部事務室
住所:〒651-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL:075-705-1461
E-mail:gaikokugo-jim@star.kyoto-su.ac.jp